

名古屋大学医学部附属病院

平成 30 年度 がん看護研修

ご案内



名古屋大学医学部附属病院 がん診療連携拠点病院事業

がん看護研修概要

1. 目的

当院はがん診療連携拠点病院として、県内のがん医療に携わる看護師を対象にがん看護に関する研修を行うことにより、地域におけるがん看護の質向上に寄与することを目的とします。

2. 概要

本研修は看護経験や看護師のニーズに合わせて、がん看護を段階的に学ぶことができるようにⅠ～Ⅲにステップアップできる研修構成になっています。

がん看護研修Ⅰはがん看護の基本を学ぶ研修内容です。がん看護研修Ⅱは、緩和ケアコースまたはがん化学療法看護コースを選択でき、それぞれのコースにおける専門的な知識を学ぶ研修内容です。がん看護研修Ⅲは実習を中心とした研修内容となり、今年度より開講します。各研修の概要は下記を参照ください。

| 研修名 | 日程 | 対象者 | 申込期限 | 受講料 |
|----------------------------|---|---|--------------------|---------------|
| がん看護研修Ⅰ | 平成30年 10月12日(金) 10月13日(土) 2日間 | 実務経験1年以上 ラダーレベルⅠ以上※ 2日間受講できる方 | 平成30年 9月21日(金) | 無料 |
| がん看護研修Ⅱ 緩和ケアコース | 平成30年 11月9日(金) 11月10日(土) 2日間 | 実務経験2年以上 ラダーレベルⅡ以上※ がん看護研修Ⅰ修了者 (今年度、受講予定者も可) 2日間受講できる方 | 平成30年 10月19日(金) | 無料 |
| がん看護研修Ⅱ がん化学療法看護 コース | 平成30年 12月7日(金) 12月8日(土) 2日間 | 実務経験2年以上 ラダーレベルⅡ以上※ がん看護研修Ⅰ修了者 (今年度、受講予定者も可) 2日間受講できる方 | 平成30年 11月16日(金) | 無料 |
| がん看護研修Ⅲ | 平成31年 1月28日(月)～ 2月8日(金)2週間 3月15日(金)午後 講義：2日間 実習：8日間 発表：0.5日 | 実務経験4年以上かつがん看護領域の 実務経験3年以上 ラダーレベルⅢ以上※ がん看護研修Ⅱ（緩和ケアまたはがん 化学療法看護コース）修了者 (今年度、受講予定者も可) 研修期間を全て受講できる方 | 平成30年 10月19日(金) | 実習費 8,640円 |

※ラダーレベルは「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」に基づいたレベルⅠ～Ⅴの5段階

3. 研修内容

各研修内容は別紙の研修計画書、研修科目を参照ください。

4. 申込方法

各受講申込書に必要事項を記入の上、申込期限（消印有効）までに郵送にて申込みください。

受講申込書のフォーマットは下記URL（がん拠点HP）より取り出せます。

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/kyoten/cancer/news/detail.php?no=19#h30gankango>

5. 問合せ先・申込書送付先

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65番地

名古屋大学医学部附属病院 医事課医事係 浜崎 宛 電話（052）741-2111（内線2849）

平成 30 年度 がん看護研修 I 研修計画書

名古屋大学医学部附属病院

| | |
|------|---|
| 研修目的 | 多様な状況にあるがん患者の QOL の維持・向上のために、がん看護の基盤となる考え方を理解できる。 |
| 一般目標 | <ol style="list-style-type: none">1. がん看護の基盤となる考え方を理解し、多様な状況にあるがん患者を支援するための基本的知識を習得する。2. がん患者の QOL の維持・向上のための看護援助を理解することができる。 |
| 行動目標 | <ol style="list-style-type: none">1. がんとがん医療について基本的知識を習得できる。2. がん患者のこころの変化を理解して基本的なコミュニケーションスキルを実践できる。3. 患者の権利を尊重した意思決定支援について述べることができる。4. がん患者の退院支援や在宅療養支援に必要な看護を理解し、QOL の維持・向上のための看護援助を述べることができる。 |
| 対象者 | 以下の要件に全て該当する看護師 <ol style="list-style-type: none">1. がん医療に携わる看護師で実務経験 1 年以上2. ラダーレベル I 以上3. 2 日間の受講が可能 |
| 募集人数 | 50 名程度 |
| 研修日時 | 平成 30 年 10 月 12 日（金）～10 月 13 日（土） 9:00-16:45 2 日間 |
| 場所 | 名古屋大学医学部附属病院 鶴友会館 2 階大会議室 |
| 講師 | がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、医師など |
| 研修方法 | 講義・演習・グループワーク |
| 修了要件 | 80%以上の出席 |

平成 30 年度 がん看護研修 I 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

研修日：10月12日（金）、10月13日（土）9:00-16:45

場所：名古屋大学医学部附属病院 鶴友会館 2 階大会議室

| 科目 | 内容 | 時間 |
|-------------------|---|------|
| 腫瘍学概論 | がん細胞の特徴（発がん過程、がん関連遺伝子など） がんの疫学、がんの予防と検診 | 60 分 |
| がん医療政策と社会的支援 | がんの医療政策 がん医療に伴う経済的問題（治療費、就労問題など） がん患者・家族が活用できる社会資源 | 60 分 |
| がん医療と看護倫理 | 倫理の基本的な知識 がん看護における倫理的課題について | 60 分 |
| がん患者の意思決定支援 | 患者・家族へのインフォームド・コンセント がん治療・療養過程における患者・家族の意思決定支援 | 60 分 |
| | グループワーク | 30 分 |
| がん患者とのコミュニケーション I | がん看護実践におけるコミュニケーション 基本的なコミュニケーションスキル ロールプレイ | 90 分 |
| がん看護学概論 I | がんの病のプロセスを通して、がん患者が遭遇する喪失や危機的状況を理解する 喪失ががん患者に及ぼす影響について | 60 分 |
| | グループワーク | 30 分 |
| がん治療と看護 | 手術療法と看護 | 30 分 |
| | 放射線療法と看護 | 30 分 |
| | がん化学療法と看護 | 30 分 |
| | 緩和ケア | 30 分 |
| がん患者の退院支援・在宅療養支援 | 退院支援の特徴とプロセス 退院支援・在宅療養支援に必要なアセスメント | 30 分 |
| | がん患者の在宅医療と訪問看護、在宅ケアの特徴 在宅療養におけるチームアプローチ | 30 分 |
| | 事例検討 | 80 分 |

平成 30 年度 がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース 研修計画書

名古屋大学医学部附属病院

| | |
|-------|---|
| 研修目的 | 緩和ケアの重要性を理解し、がん患者と家族を全人的に捉えて緩和ケアを実践できる。 |
| 一般目標 | 1. 緩和ケアの基本となる概念を理解し、症状緩和と QOL 向上を目指した療養生活を支援するための基本的知識を習得する。 2. がん患者と家族を全人的に理解し、情報とアセスメントに基づいた看護援助を考え、実践に適用することができる |
| 行動目標 | 1. がん患者と家族の全人的苦痛をアセスメントできる。 2. がん患者・家族の心理を学び、コミュニケーションスキルを実践できる。 3. がん性疼痛と疼痛以外の症状を緩和するための看護援助を述べることができる。 4. がん患者のスピリチュアルペインを緩和するための看護援助を述べることができる。 |
| 対象者 | 以下の要件に全て該当する看護師 1. がん医療に携わる看護師で実務経験 2 年以上 2. ラダーレベルⅡ以上 3. がん看護研修Ⅰ修了者（今年度、受講予定者も可） 4. 2 日間の受講が可能 |
| 募集人数 | 30 名程度 |
| 研修日時 | 平成 30 年 11 月 9 日（金）～11 月 10 日（土） 9:00-16:45 2 日間 |
| 場所 | 名古屋大学医学部附属病院 鶴友会館 2 階大会議室 |
| 講師 | がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、緩和ケアチーム医師および薬剤師など |
| 研修方法 | 講義・演習・グループワーク |
| 研修後課題 | 研修終了後、所属部署において本研修を活かした実践についてのレポートを提出する。 |
| 修了要件 | 80%以上の出席と研修後課題の提出 |

平成 30 年度 がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

研修日程：11月9日（金）、11月10日（土）9:00-16:45

研修場所：名古屋大学医学部附属病院 鶴友会館 2階大会議室

| 科目 | 内容 | 時間 |
|------------------|--|-----|
| 緩和ケア概論 | 緩和ケアの定義と基本理念 トータルペイン（身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな苦痛）の理解 | 60分 |
| がん患者とのコミュニケーションⅡ | がん医療における悪い知らせ コミュニケーションスキル ロールプレイ | 90分 |
| がんサバイバーシップの理解 | がんサバイバーシップの考え方 がんサバイバーへの支援の基本 | 30分 |
| がん患者の家族への援助 | 家族に及ぼす心理・社会的影響 家族のニーズ、家族が持つ問題 家族看護に関する理論の概要 | 45分 |
| がん治療におけるチームアプローチ | がん医療におけるチームアプローチの重要性 チームメンバーの役割と活動 チームアプローチにおける看護の役割 | 30分 |
| 症状マネジメント「がん疼痛」 | がん疼痛のメカニズム、評価、治療 | 30分 |
| | がん疼痛の薬物療法 | 60分 |
| | がん疼痛のアセスメントと看護 | 30分 |
| | 事例検討（トータルペインの理解） | 90分 |
| 症状マネジメント | 消化器症状 | 30分 |
| | 呼吸困難 | 30分 |
| | 倦怠感 | 30分 |
| | せん妄 | 30分 |
| スピリチュアルケア | スピリチュアルとは スピリチュアルペインとは | 45分 |
| | 事例検討 | 70分 |

平成 30 年度 看護研修Ⅱがん化学療法看護コース 研修計画書

名古屋大学医学部附属病院

| | |
|-------|---|
| 研修目的 | がん化学療法の特性を理解し、化学療法を受ける患者に必要な看護援助を実践できる。 |
| 一般目標 | <ol style="list-style-type: none">1. がん化学療法の特性を理解し、がん化学療法看護に必要な基本的知識を習得する。2. がん化学療法を受ける患者の包括的なアセスメントに基づいた看護援助を考え、実践に結びつけることができる。 |
| 行動目標 | <ol style="list-style-type: none">1. がん化学療法および使用される薬剤について基礎知識を習得できる。2. 抗がん薬の安全な投与管理と曝露対策について基礎知識を習得できる。3. がん化学療法による主な副作用症状とセルフケア支援について述べるができる。4. がん化学療法を受ける患者の状況を包括的にアセスメントして、必要な看護援助を述べるができる。 |
| 対象者 | 以下の要件に全て該当する看護師 <ol style="list-style-type: none">1. がん医療に携わる看護師で実務経験 2 年以上2. ラダーレベルⅡ以上3. がん看護研修Ⅰ修了者（今年度、受講予定者も可）4. 2 日間の受講が可能 |
| 募集人数 | 30 名程度 |
| 研修日時 | 平成 30 年 12 月 7 日（金）～12 月 8 日（土）9:00-16:45 2 日間 |
| 場所 | 名古屋大学医学部附属病院 病棟 8 階大会議室 |
| 講師 | がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、医師など |
| 研修方法 | 講義・グループワーク |
| 研修後課題 | 研修終了後、所属部署において本研修を活かした実践についてのレポートを提出する。 |
| 修了要件 | 80%以上の出席と研修後課題の提出 |

平成 30 年度 がん看護研修Ⅱがん化学療法看護コース 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

研修日程：12月7日（金）、12月8日（土）9:00-16:45

研修場所：名古屋大学医学部附属病院 病棟 8 階大会議室

| 科目 | 内容 | 時間 |
|------------------------|---|-----|
| がん化学療法概論Ⅰ | がん化学療法の基礎知識 化学療法の目的、適応基準、標準治療、効果判定など がん化学療法薬の分類と作用機序、特徴 抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬 | 90分 |
| がん化学療法看護概論 | がん化学療法看護の考え方、看護師の役割 | 30分 |
| がん化学療法レジメンの特徴と看護 | レジメンの理解 抗がん薬の投与前・中・後の看護のポイント | 60分 |
| 投与管理とリスクマネジメント | 抗がん剤投与におけるリスクマネジメント | 45分 |
| | 血管外漏出の予防と発症時の対処法 | 40分 |
| | 抗がん薬の曝露対策 | 45分 |
| がん化学療法に伴う副作用症状とセルフケア支援 | 副作用の概論 | 15分 |
| | 脱毛 | 15分 |
| | 骨髄抑制 | 40分 |
| | 過敏症・インフュージョンリアクション | 30分 |
| | 悪心・嘔吐 | 40分 |
| | 口腔粘膜炎 | 30分 |
| | 便秘・下痢 | 40分 |
| 事例検討 | 90分 | |
| がん化学療法を受ける患者・家族のアセスメント | がん化学療法を受ける患者・家族の置かれている状況 患者の身体的、精神的、社会的アセスメント | 60分 |
| 外来化学療法と看護支援 | 外来化学療法の現状と施設基準・必要条件 外来化学療法における看護師の役割と他部門との連携 | 30分 |

平成 30 年度 がん看護研修Ⅲ 研修計画書

名古屋大学医学部附属病院

| | |
|-------|---|
| 研修目的 | がん患者に対する看護の質を高めるため、専門的な臨床実践能力を育成する。 |
| 一般目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. がん患者の QOL 向上に向けて、専門的な知識に基づいた看護を実践できる。 2. 臨地実習を通して理論的知識と実践の統合を図ることができる。 |
| 行動目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. がん患者の身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな状況を包括的にアセスメントすることができる。 2. 包括的なアセスメントに基づいて、患者と状況にあった看護援助の計画・実施・評価ができる。 3. がんに伴う症状に対して、科学的根拠に基づいた症状緩和の援助ができる。 4. 患者・家族に対してがんと共生を支えるためのセルフケア支援ができる。 5. がん患者・家族に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる。 6. がん患者の個別的なニーズに対応するために多職種と連携できる。 7. 事例を通して、実践した看護を理論的知識に基づいて考察し、まとめることができる。 |
| 対象者 | <p>以下の要件に全て該当する看護師</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. がん医療に携わる看護師で実務経験 4 年以上かつがん看護領域の実務経験 3 年以上 2. ラダーレベルⅢ以上 3. がん看護研修Ⅱ緩和ケア又はがん化学療法看護コース修了者(今年度、受講予定者も可) 4. 研修期間全ての受講が可能 |
| 募集人数 | 6 名程度 |
| 研修日時 | 平成 31 年 1 月 28 日(月)～2 月 8 日(金) 8:30-17:15 2 週間 (講義 2 日間、実習 8 日間) 平成 31 年 3 月 15 日 (金) 午後 0.5 日 (ケースレポート発表) |
| 場所 | <p>講義：名古屋大学医学部附属病院 中診診療棟 B 6 階会議室 2</p> <p>実習：婦人科/産科病棟、消化器外科一病棟、呼吸器内科/外科病棟、外来化学療法室</p> |
| 講師 | がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、医師など |
| 研修方法 | 講義・グループワーク・臨地実習・ケースレポート発表 |
| 事前準備 | <p>実習・研修に関する誓約書、抗体検査カード、電子カルテ利用誓約書、看護師免許証コピーの事前提出 (書類は受講決定後に送付)</p> <p>実習開始日までに損害賠償保険 (看護協会の看護職賠償責任保険など) に必ず加入</p> |
| 研修前課題 | 配布資料 (受講決定後に送付) を研修前までに読んでおく。 |
| 研修後課題 | 実習中に 1 事例以上のがん患者を受け持ち、ケースレポートにまとめて提出する。 |
| 修了要件 | 講義・実習とも 80%以上の出席 実習記録とケースレポートの提出 |
| 受講決定 | 受講の可否を平成 30 年 10 月下旬頃、看護部 (局) 長宛に通知する。 |
| 受講料 | 8,640 円 (実習費として 1 日あたり 1,080 円×8 日) |

平成 30 年度 がん看護研修Ⅲ 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

研修日程：平成 31 年 1 月 28 日（月）～2 月 8 日（金）8:30-17:15

平成 31 年 3 月 15 日（金）13:00-16:45

研修場所：中央診療棟 B 6 階会議室 2

| 科目 | 内容 | 時間 |
|------------|--|-------|
| がん看護学概論Ⅱ | がん看護に関連した看護理論の概要 危機理論、症状マネジメントのための統合的アプローチ (IASM) | 90 分 |
| がん患者とセルフケア | セルフケア理論の概要 がん患者のセルフケア能力のアセスメントと支援 | 60 分 |
| 主な疾患のがん治療 | 肺がんの治療 | 60 分 |
| | 大腸がんの治療 | 60 分 |
| | 婦人科がん（子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん）の治療 | 60 分 |
| 事例検討 | がん患者の看護過程 | 150 分 |
| 実習説明 | 実習要項、病院理念、国際患者安全目標について | 45 分 |
| | カンファレンスの持ち方、ケースレポートの書き方 | 30 分 |
| | 院内施設 | 20 分 |
| 医療情報の取扱い | HI-UP 研修、テスト | 50 分 |
| | 電子カルテ操作説明 | 45 分 |
| 臨地実習 | 病棟オリエンテーション、患者情報収集 | 100 分 |
| | 病棟においてがん患者を 1 事例以上受け持ち、研修で学んだ知識を用いて、看護過程を展開する。 | 8 日間 |
| ケースレポート発表 | 実習で受け持った事例をケースレポートとしてまとめ、発表する。 | 180 分 |

【様式2】

西暦 年 月 日

推 薦 書

名古屋大学医学部附属病院長 殿

施設名：

職 位：

推薦者氏名：

印

氏名（受講者） について下記の通り推薦いたします。

推薦理由

（受講者の看護実践能力および受講後に院内や部署で期待される役割等をご記入下さい。）

西暦 年 月 日

受講希望理由書

名古屋大学医学部附属病院長 殿

施設名：

氏名：

印

がん看護研修Ⅲについて、下記の理由で受講を希望します。